

「地理探究」シラバス

学科	普通科	学年	2年	類型		組	3・4組	単位数	2
使用教科書	新詳地理探究（帝国書院）、新詳高等地図（帝国書院）								
副教材等	新編地理資料（東京法令出版）、サクシード地理（啓隆社） 地理探究ワークブック（愛媛県高教研地歴・公民部会）								

1 学習の到達目標

<p>① グローバル化や情報化、少子高齢化など、急激な社会の変化を地理的な視点で捉えながら、平和で民主的な国家及び社会を形成するために必要な資質・能力を身に付ける。</p> <p>② 現代世界における地理的認識を深めながら、地理的技能や地理の見方・考え方を習得する。</p> <p>③ 主体的に社会の形成に参画する態度を身に付ける。</p>
--

2 学習評価

次の三つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとめりごとに、下記の評価項目により、観点別評価と100点法の評価をする。学年末において、観点別評価を5段階の評定に総括する。

知識・技能	地理的諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けているか。	(1) (2) (6) (7)
思考・判断・表現	地理的諸事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養っているか。	(1) (2) (5) (6) (7)
主体的に学習に取り組む態度	地理的諸事象について、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深めることができるか。	(3) (4) (5) (6) (7)
評価方法	主な評価項目	
ペーパーテスト	(1) 定期考査 (2) 小テスト	
学習状況の観察	(3) 毎時間の授業への取組 (4) 地理的事象に関する興味・関心	
発表	(5) 調査方法・発表資料及び内容	
課題レポート	(6) 調査方法、表現方法	
ノート	(7) 学習内容の効果的なまとめ	

3 学習の計画

学期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	評価項目
一 学 期	第1部 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境 序節 地球環境と人間 1節 地形 2節 気候	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境に関する諸事象を理解し、それらの事象を多面的・多角的に考察し、表現するとともに、そこでみられる課題を主体的に追究しようとする。 	(5)
二 学 期	3節 日本の自然環境 4節 地球環境問題 第2章 資源と産業 1節 農林水産業 2節 食料問題 3節 エネルギー・鉱産資源 4節 資源・エネルギー問題	<ul style="list-style-type: none"> 資源と産業に関する諸事象を理解し、それらの事象を多面的・多角的に考察し、表現するとともに、そこでみられる課題を主体的に追究しようとする。 	(6)
三 学 期	5節 工業 6節 第3次産業		

備考 (1) (2) (3) (4) (7)については、全ての単元において評価項目として用いる。